

## ベトナムの情報通信

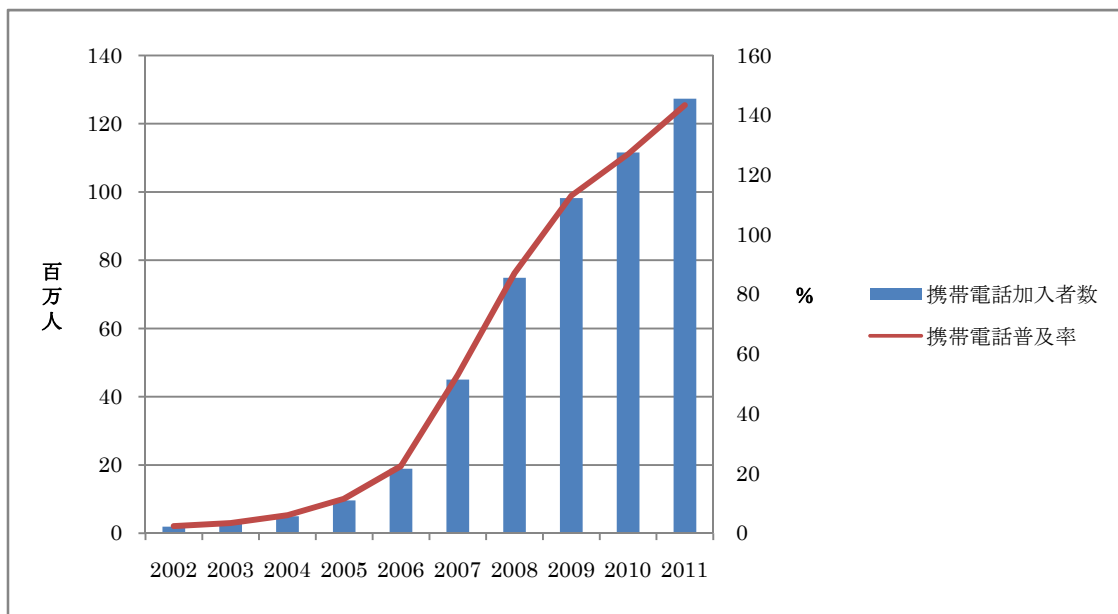
岡山県ベトナムビジネスサポートデスク (I-GLOCAL)

### はじめに

1990年代からベトナムにおいて始まった経済成長は、国民の生活のさまざまな場面に変化をもたらした。中でもベトナムが国を挙げて普及を推し進めた携帯電話、インターネットをはじめとする情報通信分野は急速に発展した。国民の生活の利便性が高まるのはもちろん、インターネットなどが普及することで企業の広告宣伝の効果が高まるなど、メディアの充実がビジネスに与える影響は大きい。そこで、このレポートではそのような情報通信分野において、ベトナムでどのような変化が起きているのか、またその変化におけるベトナム特有の特徴などを他国と比較しながら検証していく。

### 携帯電話について

まず携帯電話の加入者数及び普及率について、データを紹介する。国連の組織であるITUの統計データ<sup>1</sup>によると、ベトナムの携帯電話加入者数、携帯電話普及率の推移は、次のグラフのとおりである。



このグラフによると、2011年の携帯電話加入者数は人口の87,840,000人を大きく超えた127,318,045人、普及率は143.39%となっており、ベトナムでは国民が1人1台以上を所有していることになる。

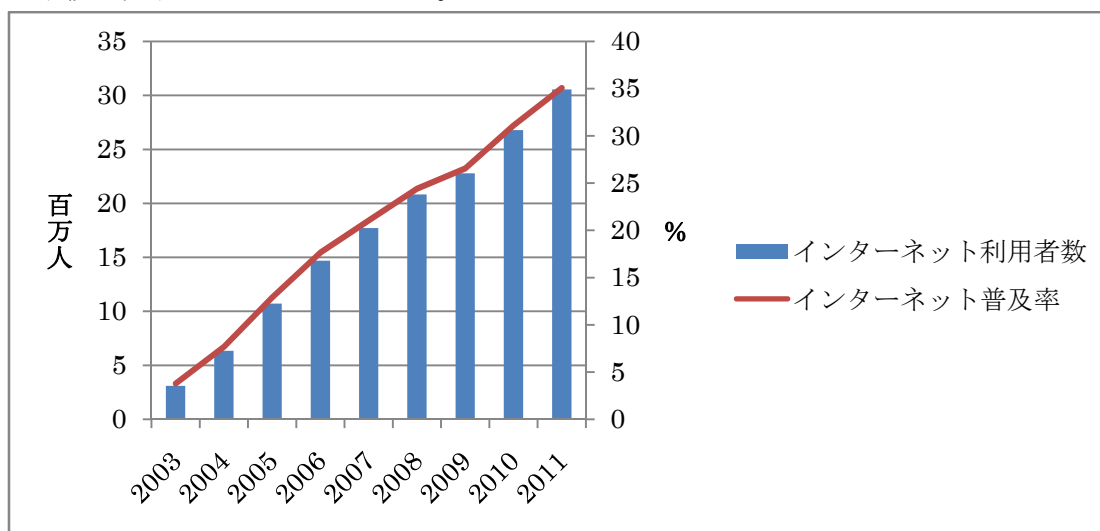
<sup>1</sup> <http://www.itu.int/ITU-D/ict/statistics/>より引用

次に他国との比較である。2011年の普及率自体、他の発展途上国と比べて高いものではあるが、注目すべきはその増加率である。ベトナムでは2006年から急激に携帯電話が普及しており、2011年のデータでは加入者数、普及率ともに2006年の約6.7倍となっている。この6.7倍という数値は、同じくITUのデータをもとに算出した中国の2.1倍、インドの5.3倍、インドネシア3.7倍、タイの1.9倍などより大きいもので、他国と比較しても速いスピードで携帯電話が普及してきたといえる。

そのように携帯電話が普及してきたベトナムでも、近年スマートフォンが普及している。ベトナムでのスマートフォンの価格はおよそ500ドルから800ドル、また一流大学卒の新入社員の初任給は一般的に300ドル程度である。つまりスマートフォンは、そのような若者達にとって給料の数か月分のものであり、気軽に手が出せる価格とはいえない。しかし、街中はスマートフォンを手にした富裕層ではない若者で溢れ返っている。ベトナムではそのような若者達が、給料数か月分をはたいてまで購入するほど、スマートフォンや最新機種を持つことの意味は大きく、ベトナム人の携帯電話への意識の高さがうかがえる。

## インターネットについて

次にインターネットであるが、こちらも携帯電話と同様、近年目覚ましいスピードで普及しており、現在では「都市部の若者の間ではテレビよりもインターネット視聴時間が長い」<sup>2</sup>ほどである。ベトナムの通信情報省直属のVNNICの統計データ<sup>3</sup>によると、ベトナムにおけるインターネット利用者数の推移は以下のグラフのとおりである。



携帯電話の加入者数や普及率と比較すると、インターネットの普及率は2011年時点で35.07%と、低い数値にとどまっている。

しかし、ベトナムにおけるインターネット人口の増加率は、ITUのデータ<sup>4</sup>によると2000年から

<sup>2</sup> <http://www.jetro.go.jp/world/asia/vn/fashion/trends/1103001.pdf> より引用

<sup>3</sup> <http://www.thongkeinternet.vn/jsp/trangchu/index.jsp> より引用

<sup>4</sup> <http://www.itu.int/ITU-D/ict/statistics/> より引用

2011年までの11年間で、ベトナムのインターネット普及率が0.25%から35.07%に、倍率にして約140.2倍に膨れ上がった。携帯電話の場合と同様に周辺諸国と比較してみると中国の21.5倍、インドの19倍、インドネシアの19.4倍、タイの6.4倍など携帯電話の普及率以上に大きく引き離している。

現在ベトナムの都市部では、飲食店などをはじめとして街中のいたるところで無料の無線LANが利用できる。またベトナムでは現在多くの人々がSNSサイトのfacebookを利用しており、若年層が利用者の中心であるfacebookの利用者が増加していることから、インターネットは若者を中心に広まってきたことがわかる。ベトナム全体のインターネット普及率は35.07%という数値であるが、企業の戦力となる都市部の若者に限れば、かなり広くインターネットが普及しているといえる。

### おわりに

ベトナムでは2000年代に急速に携帯電話及びインターネットが普及し、普及率は携帯電話が一人一台を超える143.39%、インターネットが11年前の約140倍の35.07%となった。ベトナムで起きた情報通信の発展は他国と比較してみても非常に急速なものであった。冒頭で述べたとおり、メディアの充実がビジネスに与える影響は大きい。すでに紹介したように内需向けの企業にとって広告宣伝がしやすいという他にも、システム開発関連の企業はプログラミングなどに長けた現地人材を採用し、人件費を抑えた開発ができるといったことも考えられる。

ベトナムに進出する企業はメディアの普及がもたらした新しい可能性に着目し、発展した現在のベトナムに合わせた事業計画やマーケティングを行っていく必要がある。